



財務省総合職 財務局内定者 パンフレット

令和7年度



ご挨拶

こんにちは。令和7年入省予定財務省財務局総合職
内定者パンフレットを手にとっていただき、ありがとうございます！
ございます！

このパンフレットは、内定者が内定を得るまで、何を
考え、どうしたかをまとめた情報誌です。内定に向けて
ぜひ参考にいただければと思います！

そして、このパンフレットを読んで頂いた後、将来の
財務局総合職内定者としてお会いできるのを楽しみに
しております。

内定者一同、皆さんの国家公務員試験、官庁訪問が、
よりよいものになることを願っております。

目次

- ご挨拶
- 内定者の基本情報
- 内定者個人のページ
- 試験対策
 - ・基礎能力試験
 - ・専門試験（法律、経済、行政）
 - ・大卒教養
 - ・人事院面接
- 官庁訪問対策
 - ・官庁訪問対策
- 地方のページ
- 終わりに

お断り：この冊子の文責は、令和7年度財務省財務局総合職内定者にあります。
よって、このパンフレットの内容は、内定者の個人の見解によるものであること
にご留意ください。また、本名は掲載されておりませんが、個人を特定できる情
報が含まれております。そのため取り扱いには十分ご注意ください。無断での複
写・複製・転載等は、認めておりませんので、なさらないようにお願いします。

CHAPTER 1

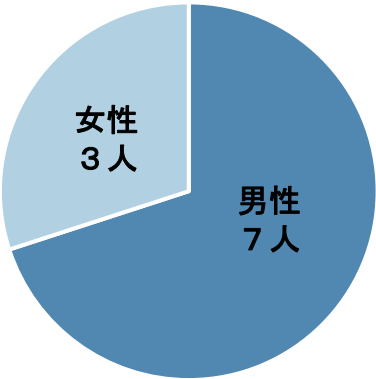
INFORMATION

～内定者基本情報～

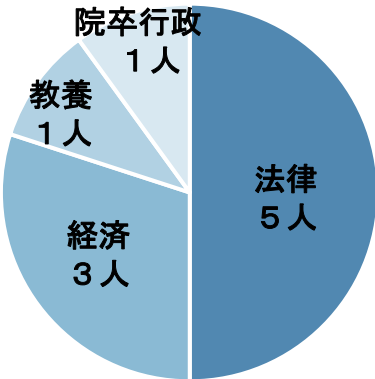
まずは、内定者全10名について、
出身地や試験区分などについてまとめました。
自分にあった省庁探しに役立ててください。

内定者の基本情報

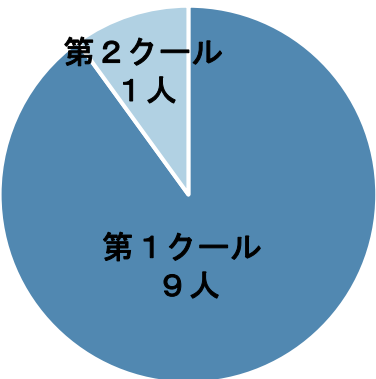
男女比



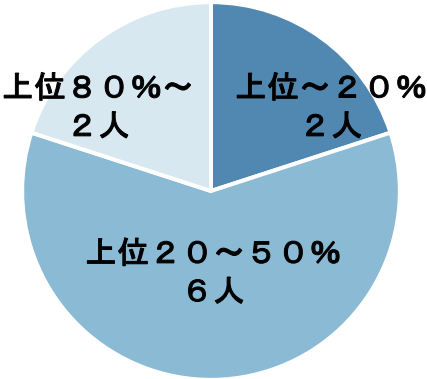
試験区分



初回参加クール

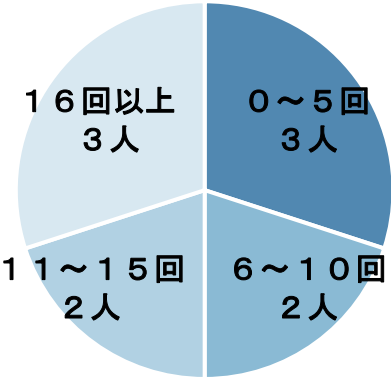


試験席次

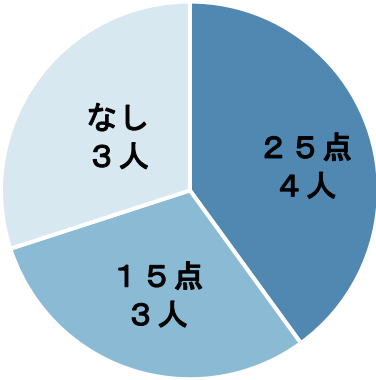


※50~80%は、0名

説明会参加回数



英語加点



CHAPTER 2

PROFILE

～内定者個人のページ～

それぞれの内定者について、
その人物像を記しています。
みなさんに向けたメッセージは必読です！

Profile 01

【性別】 男性
【年齢】 22歳
【出身】 愛媛県
【大学】 岡山大学
【学部】 法学部
【区分】 大卒法律
【趣味】 映画鑑賞、漫画
【併願先】 ・ 国家一般職
・ 財務専門官
・ 参議院事務局など

第1クールの訪問先

1日目：財務省財務局
2日目：国税庁
3日目：なし

志望動機

中央省庁での政策立案や法案策定を通じて、社会課題の根本解決に取り組みたいと考え、志望しました。

本省での政策立案と地方での執行の両方に携わることができ、地方の実情に即した政策立案ができると考えたからです。特に地方の国有財産の利用・活用に取り組みたいと考えています。

受験生へのメッセージ

私と同じく地方出身の方は、東京での官庁訪問に不安を感じることも多いと思います。しかし、財務局総合職は地方出身者が多いため、幅広い出身の方に出会い、貴重な経験ができます。ぜひチャレンジしてみてください。

自己PR

向上心があり、自身の興味関心に基づいて、様々なことに挑戦できることが強みだと考えています。大学では、主に法学を学んでいましたが、簿記やPC関連の資格の取得にも取り組み、自身の学びの幅を広げるように努めました。今後は仕事に活かせるように、英語の学習にも力を入れたいと考えています。

学生時代の過ごし方

映画を観ることが趣味です。よく映画館や動画配信サービスを利用して、映画を観ていました。ジャンルは様々ですが、直近で観た映画の感想を友人と共有することも楽しみにしていました。

また、アニメや漫画も大好きなので、長期休みの際には、旅行をしながら、アニメの聖地巡礼などもよくしていました。

大学では、勉学にも取り組みながら、趣味も楽しむことができたと思います。

人事からの一言

想定外の質問を受けたとしても常に冷静に自身の考えをまとめあげる思考力を感じました。一方で、冷静でありながらも財務局総合職として働きたいという熱い想いを真っ正面から目を見て採用担当に伝えられる姿に力強さを感じ、心惹かれるものがありました。

Profile 02

【性別】 女性
【年齢】 22歳
【出身】 千葉県
【大学】 明治大学
【学部】 商学部
【区分】 大卒経済
【趣味】 カフェ巡り
【併願先】
・ 国家一般職
・ 国税専門官

第1クールの訪問先

- 1日目：財務省本省
- 2日目：金融庁
- 3日目：財務省財務局

志望動機

大学在学中に短期の海外留学を経験した際に、国が国民の生活基盤を整えることの重要性を体感し、それを支える仕事である国家公務員を志望しました。財務省財務局の総合職を目指したきっかけは、身の回りの地域が衰退してしまうことへの危機感を感じたことです。そして、地域を実現可能な形で受け継ぐことで社会生活の安定につながると考え、地域の課題を国と地方、両方の視点から考えることができる財務省財務局を選びました。

受験生へのメッセージ

受験を考えている皆さん、日々勉強お疲れ様です。試験対策が本格化してきた中で、志望先を迷われている方も多いと思います。自分と向き合い、自分が何をしたいか、将来についてじっくりと考えてみてください。

自己PR

私の長所は、視野を広く持って行動できることです。飲食店でのアルバイトでは、ホールやキッチンを経験してきました。そこでは誰もが満足できるサービスの提供はもちろん、率先してみんながやりたがらない業務に取り組むなど、他の人が気付かない部分への配慮などを心掛けてきました。その結果、社員の方から「私がいると安心できる」という声をいただくことが出来ました。

学生時代の過ごし方

主に、サークルやアルバイトなどをして過ごしました。勉強面ではゼミに入ったり、資格の勉強をしたり、自分の興味のあることに取り組んできました。

サークルでは学園祭実行委員会として活動していました。アルバイトは飲食店で勤務しており、様々な人と関わることのできる楽しさから続けていました。ゼミでは、三年次に共同論文を執筆したり、現在は卒業論文の準備をしたりしています。

人事からの一言

幅広い視野と確かな知識が訪問者の中でも抜きんでいました。どのような状況に置かれても自身の向上心や知的探求心を忘れず、積極的な質問とその考察を繰り返している姿を目の当たりにして『頼もしい』という言葉が自然と出てきたのを覚えています。

Profile 03

- 【性別】 男性
【年齢】 22歳
【出身】 宮城県
【大学】 千葉大学
【学部】 法政経学部
【区分】 大卒法律
【趣味】 野球、コーヒー
【併願先】
- ・ 財務専門官
 - ・ 宮城県庁

第1クールの訪問先

- 1日目：財務省財務局
2日目：なし
3日目：なし

志望動機

私は財政や経済に興味があり、これらに関わる仕事がしたいと思っていました。また、大学で学んだ理論と実際の現場のギャップを感じることがあり、財務局の「国と地域をつなぐ」という役割に共感しました。以上の理由から、現場で政策の執行をしたり、地域の声を政策に反映し、実情に基づいた政策立案に貢献したりすることで、財政や経済の観点から国と地域の双方に貢献できる財務局総合職を志望しました。

受験生へのメッセージ

公務員試験は大変な戦いで不安になることも多いと思います。私自身も、本当に大丈夫かと何度も不安になりました。しかしそのときに心の拠り所になったのは努力してきた自分でした。皆さんも納得のいく準備をして頑張ってください。

自己PR

私の強みは、野球部の部長やリーグ戦運営担当の経験を通して培った主体性です。これらの活動の中で、取り組んでいることの課題は何か、どうしたら活動がより良くなるのかを考え、行動してきました。財務局総合職の幅広い業務に対して自分なりに考え、工夫しながら取り組んでいきたいと思います。

学生時代の過ごし方

私は大学入学時から公務員を目指していました。そのため、学業面では、公務員試験の科目と被る講義を中心に履修し、その上で勉強時間を確保するため、三年生前期までに大学の単位をなるべく多く取れるようにしていました。

学業面以外では、野球部に所属し、私の代では部長を務めました。また、アルバイトについては飲食店と塾講師を経験しました。

かなり忙しい日々でしたが、それぞれの経験から学ぶことも多く、充実した学生生活でした。

人事からの一言

地域のために働きたいという確固たる軸があったように思います。体育会の経験や柔和な人間性から様々な人とのコミュニケーションを大事にしてきたことが会話の中から見取れ、国と地域をつなぐ財務局総合職の使命との親和性を強く感じました。

Profile 04

【性別】 女性
【年齢】 22歳
【出身】 東京都
【大学】 中央大学
【学部】 法学部
【区分】 大卒法律
【趣味】 ラーメン屋巡り
【併願先】 公務員：財務専門官
民間：銀行、商社、メーカー、
インフラ等10社

第1クールの訪問先

- 1日目：財務省財務局
- 2日目：なし
- 3日目：なし

志望動機

多くの人の役に立ち、また、大学で学んだ法律の知識や考えを活かすことができる職業に就きたいと思い、国家公務員を志望しました。

その中でも財務省財務局総合職を志望した理由は、財政・経済・金融の幅広い分野にわたってキャリアを歩めることや、中央官庁での政策立案だけではなく、地方財務局の政策執行現場での勤務も経験できることに魅力を感じたからです。

受験生へのメッセージ

公務員試験は長期戦で、周囲の友人たちと比較して焦ってしまうこともあると思います。

しかし、落ち着いて自分のペースで最後まで駆け抜けてください！
努力した結果は必ずついてきます！！！！

自己PR

私の長所は、他者の役に立ちたいという思いから、努力を惜しまずに成長し続けられるところだと思います。ドラッグストアのアルバイトでは、外国人観光客にも買い物を楽しんでもらうと同時に、店舗の売り上げにも貢献したいと考え、接客時特有の英語や、商品の多言語での表現を勉強し、実際に仕事に活かすことができました。

また、特技は早起きです。

学生時代の過ごし方

大学や公務員試験の勉強に加え、複数のアルバイト（塾講師、パン屋、新聞社、ドラッグストアetc...）や新聞サークルの活動など、様々なことに興味を持ち、どれも頑張っていたと思います。

特に、新聞サークルでは、コロナの影響で引継ぎが難しい中、会計や新歓担当の係として手探りで活動を盛り上げました。

非常に忙しかったですが、毎日充実していて楽しかったです。

人事からの一言

受けたアドバイスをしっかりとメモに書き起こし、次回までに少しでも改善しようと試みる点に実直さと行動力を感じました。官庁訪問中は時々考えが上手くまとめられずに目線が逸れる場面が見受けられたものの、その不安を払拭する吸収力と成長力を感じました。

Profile 05

【性別】	男性
【年齢】	22歳
【出身】	埼玉県
【大学】	明治大学
【学部】	政治経済学部
【区分】	大卒経済
【趣味】	サッカー観戦、旅行
【併願先】	・参議院事務局 ・東京都 ・民間メーカー

第1クールの訪問先

- 1日目：文部科学省
- 2日目：国土交通省
- 3日目：厚生労働省

志望動機

中学校時代から仲のよい友人についての経験をきっかけに、格差について考えるようになりました。格差の是正には根本の問題への対応が、不可欠であると考え、時代に合わせた政策を打ち出せる国家公務員総合職を志望しました。

ゼミでのフィールドワークやボランティアの経験で、地域に関しても格差が発生していることを知り、財務局を志望するようになりました。

受験生へのメッセージ

就活中は苦しい時期が必ずあると思いますが、趣味などの落ち着けることを探せると良いと思います。何事にも気を負いすぎず、自分のペースでほどほどにやるように心がけてください。頑張ってください！

自己PR

私の強みは、計画力と継続力であると思っています。

ゼミの活動や公務員試験の勉強においても、自分が進めることのできるペースを把握し、優先順位と照らし合わせながら、いつまでに、何を、どれだけ終わらせるのかという内容の計画を立てていました。また、継続力をもってその計画をコツコツと消化していました。

学生時代の過ごし方

3年時はゼミの活動に勤しんでいました。政策コンペティションに出場し、よりよい発表を作成するために毎日ゼミのことばかり考えていました。

週に2回のペースで趣味の筋トレを続けています。また、週4くらいでアルバイトをし、好きなアーティストのライブや旅行、サッカー観戦にお金を使っていました。

人事からの一言

チームで課題解決するという意識と、それを裏付ける経験がありました。自身の考えが論立ててまとまらない場面が時々ありましたが、考え至らなかった点を素直に「教えてほしい」と言える柔軟性とその回答を深く理解しようとする姿勢に『聞く力』を感じました。

Profile 06

【性別】 男性
【年齢】 22歳
【出身】 大阪府
【大学】 北海道大学
【学部】 経済学部
【区分】 大卒法律
【趣味】 音楽ゲーム
【併願先】

- ・ 東京都庁
- ・ 国税専門官 など

第1クールの訪問先

- 1日目：財務省財務局
2日目：法務省
3日目：なし

志望動機

学生生活を送るなかで国内の様々な場所に足を運び、地方の人口減少や経済の停滞などに対し、問題意識を抱きました。そして、こういった課題に対し、国の立場から主体的に手を打ちたいと考え、国家公務員を志望しました。特に財務局総合職であれば、各地域の状況を詳細に把握することで、地方の実情を反映した政策立案・執行に取り組めると考えました。この点に魅力を感じ、財務局総合職を志望しました。

受験生へのメッセージ

試験対策や官庁訪問対策など、準備することが多く大変かと思います。しかし、自分を見つめなおす機会であると捉えれば、楽しめる部分もあるのではないかと思います。皆様が後悔の無い進路選択を行えるよう祈っております。

自己PR

学生時代の経験を通して、人と人との間を取り持ち、多様な人と協働しながら目標に向けて取り組む力が付きました。この点が私の強みであると思います。

財務局総合職としてこの強みを活かし、幅広いフィールドで多様な人の意見に耳を傾けながら、社会課題の解決に取り組みたいと考えています。

学生時代の過ごし方

主にサークル活動に力を入れました。民族舞踊サークルと軽音楽サークルを掛け持ちし、和楽器・伝統芸能の習得や、バンド活動（ドラム担当）に取り組みました。

その他には、コンビニでのアルバイトを4年間続けたり、趣味の音楽ゲームに没頭したり、ラーメン屋巡りに勤しんだりして、色々なことに熱意を持って行動することを意識しました。

人事からの一言

「表情が固い」というアドバイスに対して「笑顔の練習」という解決策を持ってきたエピソードだけでも彼独自のパーソナリティを感じ、強く惹かれました。まずは出来ることからという意識を持つことは出来そうで出来ないことだなと彼から学ばせてもらいました。

Profile 07

- 【性別】 女性
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 兵庫県
- 【大学】 大阪大学
- 【学部】 人間科学部
- 【区分】 大卒経済
- 【趣味】 漫画を読むこと
- 【併願先】
 - ・ 参議院事務局
 - ・ 兵庫県庁 etc.

第1クールの訪問先

- 1日目：財務省本省
- 2日目：厚生労働省
- 3日目：財務省財務局

志望動機

まず、総合職を目指した理由は、国の枠組みごとと変えることができるため、できることが多くていいなと思ったからです。そこで国の方向性を形づくることができるのは予算を司る財務省だと考え、財務省を視野に入れました。財務省では、どうしても現場が遠いと感じていましたが、財務省財務局であれば、地方への細やかな気配りができるため、その点を魅力的に思い、志望しました。

受験生へのメッセージ

官庁訪問はお見合いみたいなものだと思います。背伸びしない自分で挑んで、それがいいと思ってもらえれば成立、そうでなければ不成立。なので、気負わずに、ご縁があればいいなくらいの気持ちで挑むのが吉だと思います。

自己PR

何事も真面目に取り組むところが取り柄だと思っています。計画性と真面目さと生活リズムの規則正しさだけは、誰にも負けないと思っています。

あとは、本番に強いところです。本番までは心配ですごく悩むのに、本番になるといきなり強気になる自分が面白くて意外と好きです。

学生時代の過ごし方

大学まで片道2時間かけて通学していたので、サークル等には入らず、勉強とバイトと遊ぶの3本立てで4年間過ごしました。あとは、可愛いペットと戯れていました。

自由に使える時間がたくさんあって、とても快適で楽しかったです。人生休むことも大事だなと思いました。

実質、何もしてないのですが、そうやってゆっくりできるのは今だけと思うと、価値のある大学生活だったかなと思います。

人事からの一言

苦難の連続で自信が喪失しかけている中でも自身を鼓舞し、やれるところまでやってみるという粘り強さに芯の強さを感じました。総合職と専門官という採用の違いを常に意識しており、「財務局総合職で働く」ということと常に向き合っていた点に信頼を感じました。

Profile 08

【性別】 男性
【年齢】 22歳
【出身】 香川県
【大学】 広島大学
【学部】 経済学部
【区分】 大卒法律
【趣味】 スポーツ観戦
【併願先】 ・財務専門官
・国家一般職
・広島県庁

第1クルールの訪問先

1日目：財務省財務局
2日目：なし
3日目：なし

志望動機

志望動機は大きく分けて2つありました。

1つ目は国有財産の利活用をすることで、地域の活性化や社会問題の解決に取り組みたいと考えたからです。自分の周りで国有財産についての事例があったことがきっかけとなりました。2つ目は幅広い業務が経験できることです。幅広い経験を通じて、見識を広げ自分自身が成長しながら国家の成長に寄与できることに魅力を感じたからです。

受験生へのメッセージ

公務員試験・官庁訪問は就職活動としての役割だけでなく、自分を大きく成長させるきっかけになるものだと思います。
辛く長い戦いになるとは思いますが、いつか終わりは来るので精一杯ベストを尽くしてください！

自己PR

温厚な性格が私の一番の長所だと思います。そのため、落ち着いて物事に取り組むことができます。

学生時代のアルバイトでは、トラブルやクレームなどが発生した際に、落ち着いて現状を把握して、上司の方に適切な報告をすることができました。

学生時代の過ごし方

【勉強】

環境経済学ゼミに所属していました。

特に電気自動車の普及について学びました。

【アルバイト】

大学2年の夏からスーパーマーケットでアルバイトをしていました。

【遊び】

趣味の1つに野球観戦があり、実際に球場に足を運んで試合を観戦していました。

人事からの一言

官庁訪問を経るごとに間違えるかのような成長を見せてくれたのが印象的です。官庁訪問期間中に財務局総合職の使命・業務や職員に求めることを深く理解しようとしてくれたからこそ最後の面接時には言葉の節々から自信と覚悟を感じることが出来ました。

Profile 09

【性別】 男性
【年齢】 22歳
【出身】 広島県
【大学】 神戸大学
【学部】 経営学部
【区分】 大卒教養
【趣味】 サイクリング
【併願先】

- ・ 政府系金融機関
- ・ 地方金融機関

第1クルールの訪問先

- 1日目：金融庁
2日目：財務省財務局
3日目：環境省

志望動機

現場感覚と大局観を持ち合わせたく、財務局総合職を志望しました。

財務局総合職に関心を持ったきっかけは、地方金融機関の検査監督に強い関心を持っていたことです。しかし、官庁訪問の中で、国際為替業務や予算編成業務について知ること、これらの業務にも強い関心が生まれました。そして、ミクロな視点とマクロな視点の両方を持ち合わせたいと考えていた私のキャリア選択には、財務局総合職が最適だと考えるようになりました。

受験生へのメッセージ

膨大な選択肢を目の前して、将来への不安や悩みが生まれるかもしれませんが、そういうときこそ自分を見失いがちです。自分の本音を見つめれば、最適な選択肢が見つかると思います。

自己PR

新しいことへ挑戦できることが私の長所です。中高で異なる部活動に参加し、大学ではフラッシュモブチームに加入するなど、自分ができることの幅を広げてきました。

同時に、選択の結果に責任をもって取り組むことができます。フラッシュモブチームで代表を任されたのは、このことの現れだと考えます。

学生時代の過ごし方

興味関心が拡散していたため、特に学生生活の前半では、とにかく色々なことに挑戦していました。結果として、評価の軸や指針を持つ必要を感じ、ゼミではあえて経済学の「考え方」を学ぶべく、ゲーム理論のゼミに加入しました。

学業面以外では、サークルの先輩方と車中泊の旅行に行ったり、自転車で神戸から敦賀まで行ったり、アメリカに一週間滞在してみたりと、アクティブに行動することを心掛けていました。

人事からの一言

官庁訪問中は過度な緊張や気の緩みなど表情等に不安定な場面がありましたが、相手が誰であっても自身の想いや考えを色を付けずに相手に伝えられる誠実さがありました。そこから、組織等の垣根を超えてより良い仕事を追求してくれるイメージができました。

Profile 10

- 【性別】 男性
- 【年齢】 28歳
- 【出身】 大阪府
- 【大学】 関西大学大学院
- 【学部】 法務研究科
- 【区分】 院卒行政
- 【趣味】 RPG、ゴルフ
- 【併願先】
 - ・ 裁判所事務官総合職
 - ・ 財務専門官

第1クールの訪問先

- 1日目：金融庁
- 2日目：財務省財務局
- 3日目：会計検査院

志望動機

大学院修了後、社会全体の利益になる企業行動と、企業の利益を追求するための行動が異なる事例を目の当たりにし、政策というツールを使って抜本的に社会課題を解決したいと思い、国家公務員総合職を志しました。

金融、経済、財政など、包括的に経済政策を考えることができる一方で、地方において政策を実行することができるという幅広い職務に魅力を感じ、財務局総合職を志望しました。

受験生へのメッセージ

官庁訪問は、業務を遂行する能力が見られていることはもちろん、各省庁と受験生との相性も大事なのだと強く感じました。説明会等で、自分に合った省庁を見つけて頂き、官庁訪問に臨んで欲しいと思います。

自己PR

私の強みは、コミュニケーションを通じて、多様な価値観を共有し、複数の論理を組み立てる能力があることです。

特に、法科大学院で訓練された事実評価の能力は、政策を立案する上でも強みになると考えています。

我慢強く、そして粘り強く物ごとに取り組めるのが自分の強みです。

学生時代の過ごし方

私は、勉強、ゲーム、アルバイトの3つを軸に過ごしていました。勉強については、広い視野を持つため、制度を利用して、他学部や他大学の講義も受けていたりしました。特に、音楽大学での講義は自分の知的好奇心をととても刺激したものだと思っています。

多様な価値観に接すること、様々な方法論を考えられるようにして、それぞれの価値観に即した論理を構築できるようにすることを、大学では意識していました。

人事からの一言

一見、法律とは関係が希薄のように思われる分野でもしっかりと面接官の話を聞き、自身の専門性の活かし方を考えていた点が印象的でした。また、待機室では常に誰かの相談を受けていた様子で短期間の中でも周りから信頼されるパーソナリティがあるのだと感じました。

CHAPTER 3

EXAMINATION

～各種試験対策～

法律、経済、教養、院卒…。
筆記科目に加えて、面接や討議の対策まで、
実際の攻略法を交えながら解説します。

春試験

基礎能力試験



数的処理・資料解釈

問題集を使って対策しました。数的処理では、自分で目標タイムを設定して、時間内に解くことができたなら○、時間は超えてしまったが解くことができたなら△、解くことができなかった又は間違えたものは×をつけて、2周目以降△と×を解き、全て○になるまで問題集をまわしました。

資料解釈では、問題を解き、問題に慣れるよう練習しました。また、分数と分数の比較や、年同士の比較などのやり方も覚えていくと良いと思います。

本番では、苦手な問題を飛ばして、その分の時間を時間をかければ解ける問題に充てました。全ての問題を当てる必要は無いので、自信のある問題から解いて目標点を目指すと良いと思います。

文章理解

現代文と英文どちらも、慣れが重要だと思ったので、毎日英語と現代文を交互に1問ずつ解いていました。得意な人は毎日する必要はないと思います（その分の時間を専門科目の勉強に充てるのも◎）。英語が苦手な場合は高校時代の参考書を活用して勉強しました。

また、本番の試験では、時間制限に焦るので、過去問を時間を計って解いていました。

知識・時事

知識に関しては、歴史や理科等で中学・高校時代に学習した範囲のみ予備校の授業とテキストを利用して学習しました。

時事に関しては、市販の教材や予備校のテキストを利用して勉強しました。また、新聞やテレビで日頃からニュースをチェックしておくことも非常に重要だと思います。

ただし、試験においては、ここで合否を大きく左右することはないと思うので、主要科目の片手間に勉強するのがおすすめです。

政策論文試験

授業で各テーマや既存の政策について知識を蓄えた後、過去問を解いて添削してもらうといいです（その後、修正を加えると◎）。

しかし、当日、提示された資料をうまく使って解答することも重要であるので、そこまで深く勉強する必要はないと思います。

大卒法律区分①

専門択一



憲法・民法・行政法

憲法→民法→行政法の順に学習しました。

予備校の講義を受けた後、すぐに問題集で復習をするようにし、そこから2週間、2か月と間を空けて、繰り返し問題を解き直しました（3～4周）。直前期には、総合職の過去問の演習を行って、本番に臨みました。

その際、なんとなく回答するのではなく、その選択肢がなぜ正しいのか、誤りなのかを考えて解くようにしていました。また、問題集の解答のページには、テキストのページを書き込んで、すぐに確認できるようにしました。

憲法や行政救済法では、判例の結論やその理由が出題されることが多いので、重点的に学習しました。民法や行政法総論については、問題を解いて、何回も間違えたり、ややこしいと感じた範囲の部分を、別途ルーズリーフにまとめて、何度も見返せるようにしました。

刑法・労働法

試験直前に2か月程かけて学習しました。時間がなかったこともあり、インプット用教材は省き、問題集のみを2周することで学習を進めました。また、刑法では難解な判例や学説が出題される一方で、労働法は一般常識で選択肢を絞れる問題も出題されるため、多くの方にとっては労働法の方が学習を進めやすいと思います。ただ、国家総合職以外の公務員試験では試験科目として選択できない場合も多いため、経済学や財政学を優先しても良いと思います。

経済学・財政学

大学内で開講されている公務員講座で配布された問題集を繰り返し解きました。苦手な問題に関してはノートにまとめて解きました。勉強の方法としてグラフを活用すると理解がしやすくなるので、おすすめです。

経済学の知識が財政学の基礎になると思ったので、経済学から学習を始めました。また、財政学を学ぶことで経済学の知識が深まるという相乗効果がありました。財政学では数字を覚えることが重要になりますが、細かい数字を厳密に覚えるのではなく、ざっくりと覚えるようにしていました。

大卒法律区分②

専門記述



憲法

勉強の流れとしては、知識を入れて一行問題を解答できるようにしてから事例問題に取りかかりました。事例問題は、何が問題になるかの論点を抽出して、その論点についての成り立ちや性質、学説、判例などを踏まえて規範定立をし、最後に事例当てはめという流れで解きました。準備するテーマについては、過去問を見ながら優先順位を決めて準備しました。併願先にもよりますが、出たらほぼ書けるというものを2問、ある程度書けるものを10問くらい、ぎりぎり合格点がとれるものを10問くらいというように準備しました。完璧に書くことができなくても、理由が通っていれば得点につながると思います。

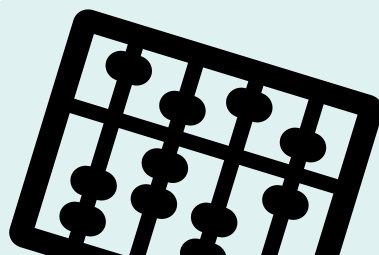
行政法

憲法と同じように、一行問題を解けるようにしてから事例問題を解きました。行政法では、問題文に論点となる法律や条例が載っており、これを元に解答していくことが多いです。そのため、一行問題で知識をつけるだけではなく事例問題の練習も必要になります。問題構成として小問が3、4問設けられていることが多く、初めのほうの問題は基礎的な内容を聞かれることが多いので、得点できるようにしていくべきだと思います。準備するテーマについては、多いわけではないので全てのテーマを書けるようにはしていましたが、過去の出題テーマから優先順位を決めてメリハリをつけて準備していました。また、前述の通り事例問題の練習を多くしました。

公共政策

1次試験後から対策を始めました。時間を測って過去問を解くことで、時間内に構成を考え書く訓練をしました。知識量を問う科目ではないので、適切に資料を引用しながら論理的な文章を書くことが最も重要であると思います。政策論文と似ているところもあるので、同じような対策方法で対応できる部分もあるかと思っています。

大卒経済区分①



専門択一

46題中40題を解答します。必須が31問で、選択科目を15問中9問選択します。

選択科目は、経済史・経済事情、国際経済学、経営学、憲法、民法です。

(2024年度の場合です。ご自身の受験年度の受験案内をしっかりと確認してください。)

経済理論

必修で31問中16問を占める最も重要な部分です。他の科目や記述試験の勉強の基礎にもなるので、公式をただ覚えるだけではなく、しっかり理論を理解できるように取り組みました。問題集や過去問を解いて、重点的に対策しました。たまに難しい問題がありますが、できるところは確実にというスタンスが大事です。

財政学・経済政策・経済事情

財政学は分量も少なく、短期間で仕上がるので、年明けからひたすら問題集をやっていました。経済理論と被る部分は経済理論で対策をし、暗記の部分は問題を解きながら覚えていきました。他は、経済系の時事問題という感じなので、基礎能力試験の時事問題の対策をしっかりすれば大丈夫です。

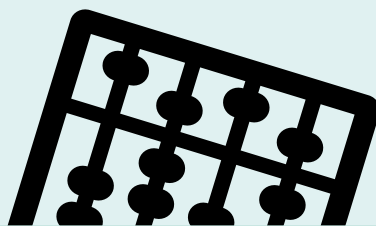
統計学・計量経済学

だいたい出る公式が決まっているので、ざっと過去問を見て、必要な公式だけを覚えて、問題演習をしていました。難しそうに見えますが、やってみると意外と得点源なので、頑張ってみるといいかもしれません。

その他選択科目

自分ができるものを選ぶのが一番いいですが、強いておすすめを挙げるなら、国際経済学と憲法です。国際経済学は、経済理論の一部なので、経済理論を勉強していれば対策できるので楽です。憲法は、他の公務員試験も併願するなら、どの試験でも使える科目なのでおすすめです。他の試験との兼ね合いも考えて選択科目を勉強すると少し楽だと思います。暗記するタイプの科目が多いので、必修科目の勉強の隙間時間などに少しずつ暗記していくのもいいと思います。

大卒経済区分②



専門記述

経済理論（ミクロ1問・マクロ1問）が必須で、財政学、経済政策、公共政策・（AかBのどちらかを選択）から1科目選択の合計2科目を解答します。（2024年度の場合です。ご自身の受験年度の受験案内をしっかりと確認してください。）

経済理論

ミクロ、マクロで1問ずつあり、択一同様、得点に占める部分が大きいです。しっかり頑張りましょう。とは言っても、択一試験の勉強で理論をきちんと理解できていれば、それを文字に書き起こすだけなので、そこまで大変ではありません。書くべきポイントを逃さずに、わかりやすく答案を書けるよう練習しましょう。たまに、試験委員の先生の本を読むといいという方がいますが、そんな時間はないと思うので、過去問を解くのがいいと思います。余裕があれば、読んでみてもいいと思います。

計算問題が多くはありますが、たまに語句を問うものもあるので、その辺りの知識も復習しておきましょう。

財政学

財政学も経済理論同様に過去問を演習していました。こちらも択一の理論をしっかり理解していれば、問題なくできると思います。

経済政策

経済政策も経済理論同様に過去問を演習していました。経済理論や財政学がわかっているならば、問題なくできると思います。財政学や経済政策は内容が似ている部分も多いので、余裕があれば、とりあえず満遍なく対策しておいて、当日問題を見て解けそうなものを解くという感じにすると安心安全です。

公共政策A・B

公共政策は全区分共通の問題です。特段、対策はしなくても書けはします。過去問を解く余裕があれば、解いてもいいと思います。公共政策Aは、様々な分野が出ます。たまに経済関連のものも出ますが、経済の知識がなくても書けるテーマがほとんどだと思います。公共政策Bは、経済の知識や視点が必要なものが多いと思います。当日問題を見て、財政学や経済政策が難しそうだと感じたなら選んでみるのもいいと思います。財政学や経済政策に比べて、高得点は狙えませんが、ある程度の点数は取れるので、堅実な手だと思います。

院卒行政区分



専門択一

行政区分は、大卒区分の法律、経済、人文、政治・国際に当たる4つ系統から、1つ選んで解答します。問題の内容等は、大卒区分とほとんど同じなので割愛します。行政区分の1次試験は、足切りの点数を切らない限り、通過するのが現状ですが、最終合格に向け、なるべく得点しておくのが良いと思います。

専門記述

2次試験の行政区分は、法律、経済、人文、政治・国際、公共政策に当たる科目から、2科目または1科目2題を選んで解答します。なお、院卒行政区分の法律科目は、大卒法律区分で出題される憲法、行政法、民法のみならず、商法、民事訴訟法、刑法も選択が可能です(刑事訴訟法は出題がありません)。

内容は、標準的な事例問題が多いです。事例問題はしっかり判例を覚えていれば解けると思います。一方で、一行問題と呼ばれる問題も出題されるので、用語の定義や意義はしっかりと復習しておくことをお勧めします。憲法は、統治も出題される可能性があるので、統治の対策を忘れないようにしてください。ロースクール出身者は、司法試験の対策が流用できると思います。

受験して、時間に追われたという感想は持ちませんでした。一方で、書きたいことに対して、紙面が足りないという感想は持ちました。論証はなるべくコンパクトにする必要があると思います。

院卒者は、総じて文章を書き慣れている傾向があり、2次試験のレベルはかなり高いと感じています。そのため、1次試験の対策より2次試験の対策を重視するのがお勧めです。

秋試験（大卒教養）

基礎能力試験

数的処理・資料解釈

秋試験対策におけるもっとも「タイパ」のよい試験科目です。広く問題に触れることで、初見の問題に本番で出会うことがないようにしましょう。過去問を有効に活用してください。

文章理解

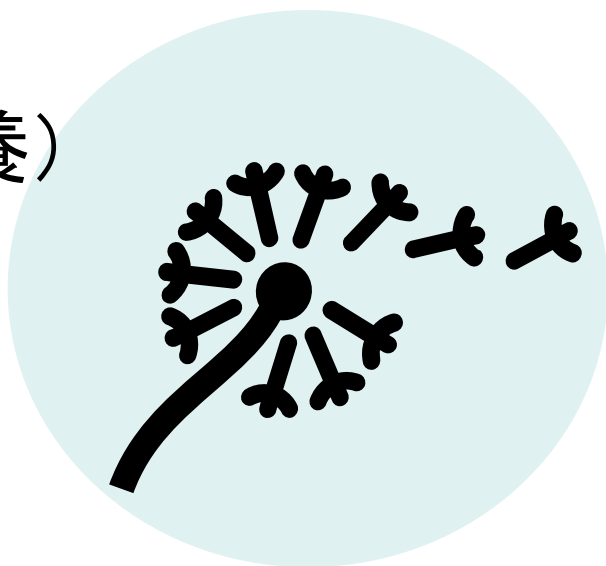
英文の問題で正答数を稼ぐことが重要です。英語の勉強は、外部試験対策にもなりますし、なにより入省後のキャリア選択に繋がります。本気で秋試験の突破を狙うなら、ぜひ対策してみてください。

知識・時事

知識問題は、大学入試で用いた科目＋興味のある科目について対策を行えば十分だと感じました。時事問題は、テレビのニュースなどの報道に接しておくとお楽になります。時事問題は落としたくないところですね。

政策論文試験

私は、論文の出来が非常に出来が悪く、論文試験の受験を終えた時点で不合格だと感じていました。しかし、1次試験の可否を決める時点では、論文試験の成績は全く加味されません。かといって、2次試験で良い成績を残しても、論文試験の点数が足切り点以下であれば、不合格になります。このような制度の中で、論文試験の結果に不安を抱えていると、2次試験の勉強にも身が入りません（実際、私も勉強しても無駄なのではないかと感じながら、対策を行っていました）。幸いにも、私の論文はギリギリで足切りを回避していましたが、自慢できるものではありません。みなさんもつい基礎能力試験に注力しがちだとは思いますが、論文の対策もほどほどに行ってください。



政策課題討議試験

概要

大卒教養区分と、院卒者試験では、政策課題討議試験が行われます。課題を読んで、A4の用紙にレジュメを書く第一部と、討論と発表を行う第二部に分かれ、第二部では、自分の意見の発表→討論→最終的な意見の発表という3つの過程があります。



内容

第一部では、20分で3つほど資料を読み、A4の用紙にレジュメを書きます。意見は、二者択一で、どちらかの意見かはっきりさせる必要がありました。第二部では、自分の発表→討論→最終的な意見発表の流れで進んでいきます。欠席等がない場合、6名で討議をします。2人ずつ三角形の形に座り、その間に試験官が座って評価しているという形態でした。

いわゆるグループディスカッションであります。内容が政策に関するものであること、実現可能性があることは強く求められることは特徴的だと思います。加えて、院卒者試験の場合は、受験生全員が院卒（見込）者のため、議論に慣れていること、受験生それぞれの専門分野を絡めて意見が出され、お互いに説明しながら議論が進むことが多いです。

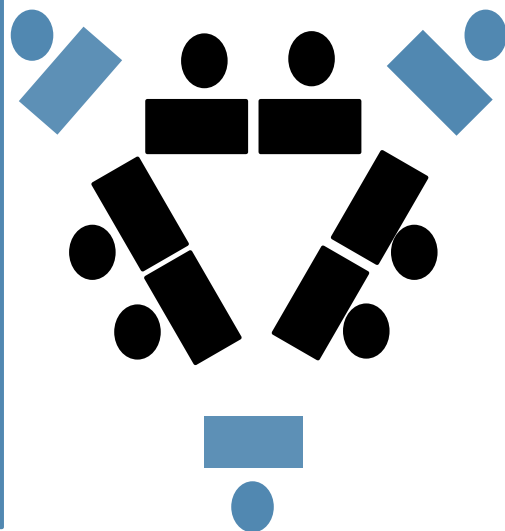
対策

第一部は、時間制限が非常に厳しいです。構成を一から考えている時間はありません。事前に2～3パターンほど、レジュメの構成を用意しておくことを強くお勧めします。

第二部は、自分の意見を発表する練習はしておくべきと思います。2分や3分の時間に合わせて意見を述べるのは、慣れが必要であると感じましたし、一人でも練習できる部分ですので、対策はしておくべきと思います。

院卒者の受験生は、自分の専門分野について、誰が聞いても理解できるように説明することができるようしておくべきと思います。特に法律分野を専攻している人は、法律や処分基準に落とし込む過程で、説明する必要がある場面があります。

下のように、受験生6人で三角形を作って、頂点部分の後方から、試験官が採点をしています↓



全試験種共通：人事院面接

概要

面接官は3人いらっしゃり、基本的には面接カードに沿って質問がされます。面接室に入るタイミングは、前の人が出てから1分ほど経過したのち、自分のタイミングで入るよう言われるため、気持ちを落ち着かせる方法などがあればよいと思います。

面接内容・待ち時間について

面接カードにそって質問されますが、どのような雰囲気かは面接官によります。3名の面接官が話しながら、話を聞いてくれたという人もいれば、進行役・若手・厳しく質問する人と役割分担がされていると感じた人もいました。

詳しく聞かれた事項として、志望動機・自分の強みが深掘りされた内定者もいました。受け答えの内容そのものよりも、真摯に説明しようとする姿勢が重要であると感じた人もいました。

控室の雰囲気は、かなり重く、緊張感があります。この雰囲気にもまれないように工夫する必要があると指摘する内定者もいました。待ち時間は、人によってかなり差があるので、すぐ面接する場合と、待ち時間がかなり長い場合と、両方のケースを想定すると安心だと思います。

面接官



受験生



荷物は後ろの机に置くことが多い

対策

- 公務員講座・予備校・大学のキャリアセンターで面接カードの添削や模擬面接を受けた。
- 面接カードを眺めながら自分でなぜなぜ問答を繰り返し、試験当日に聞かれそうだったことは1枚の紙にまとめ、試験当日まで眺めるようにしていた。
- 面接カードは、とにかく簡潔に、わかりやすく、質問しやすく、一貫性を感じてもらえるように書いた。
- 面接カードは記憶できるようにするため、紙にコピーして直前まで持っていた。
- 自分で考えた予想質問や公務員講座の練習で聞かれた質問を、まとめてこれらの回答を作っておいた。

CHAPTER 4

VISIT GOVERNMENT OFFICES ～官庁訪問対策～

最後の採用プロセスであり、
受験生の多くが不安を抱えている官庁訪問。
内定者の体験談とアドバイスをお伝えします。

官庁訪問対策①

官庁訪問とは？

官庁訪問とは、国家公務員総合職試験を突破した後、各省庁に内定されるために、面接等を行う最後の関門です。各省庁ごとに雰囲気や、内々定までのプロセスが異なります。

財務局総合職では、実際に勤務している職員の方と、政策などについてお話をするいわゆる原課面接と、人事担当者と面接をするいわゆる人事面接を繰り返して、官庁訪問が進んでいきます。

ある一日の流れ

8時30分

集合

控室に到着後、名簿に名前を書き、着席して待機します。

オンライン参加の人は、オンラインミーティングに参加します。

9時から10時

入口面接

1人5分程度で、面接カードに簡単に触れられ、どのような職員の話を知りたいか聞かれます。人数によって、待ち時間が長いこともあります。準備をして待ちましょう。

10時から12時

原課面接①

面接官の職員の方が控室まで迎えに来てくれます。オンライン参加の場合は、チャットで呼ばれるので見逃さないように気を付けましょう。会議室で40分から1時間程度面接をします。緊張すると思いますが、ありのままの自分を出しましょう。

12時から13時

昼食

省内のコンビニで購入して控室で食べたり、食堂に行ったりして昼食をとります。午後の面接も全力で臨めるよう、きちんと栄養補給をしましょう！

次ページへ

官庁訪問対策②

13時から15時

原課面接②

人により待ち時間が発生します。この待ち時間を活かして、前回の面接で上手くいったことや上手くいかなかったことを振り返り、反省を活かして、面接に臨みましょう。

15時から17時

原課面接③

面接への慣れや疲れが出てくると思いますが、気を引き締めていきましょう。前の原課面接で深めた政策への理解を、活かせるよう事前に準備しておきましょう。

17時から19時

人事面接

人によりタイミングは異なります。職員の方の話を聞くというよりは、自身のことについて深く質問されることが多くなりますが、リラックスして準備してきたものを出せるようにしましょう。

19時から20時

出口面接

一日の評価や反省点等を伝えられます。次回の面接に生かせるようにしっかりと臨みましょう。

持ってきたほうがいいもの

●ノート

→面接に持って行き、職員の方のお話をメモしたり、控室で自分の考えをまとめたりするのに使えます。しかし、メモをとるのに夢中になりすぎないように気をつけましょう！

●説明会資料

→控え室に採用パンフレットや地域連携事例集が用意されていましたが、その他の説明会資料や自分のメモなどを書いたものを持ってくる人もいました。

●おやつ

→省内のコンビニで購入することもできますが、お気に入りのおやつがあればもっていきましょう。例えば、ブドウ糖、バランス栄養食、のど飴、グミなどを持ってくる人がいました。

●モバイルバッテリー

→待ち時間に調べ物をするのにスマートフォンやタブレット端末を使う機会が多くなるので、持ってきておくと安心です。

官庁訪問対策③

事前の対策

- 説明会に参加して、業務や政策への理解を深めました。また、これまでに参加した説明会の資料やメモを見返すことも理解の助けになりました。
- 官庁訪問カードを大学のキャリアセンターや予備校、生協の講座で添削してもらい、内容をよく練りました。
- 新聞を読みまくり、時事やキーワードを把握しておきました。
- 採用パンフレットだけではなく、官公庁の発表している資料やレポートなども読むようにしていました。

官庁訪問の成功談・失敗談

《成功談》

- 笑顔で会話を楽しむ気持ちで、しかし自然体で面接に臨むのが1番の成功の秘訣です！
- 控室で他の訪問者に疑問点について尋ねると、気軽に教えてもらえたのでよかったです。
- 興味のある分野や政策以外についても一応網羅しておくのと、原課面接で逆質問しやすいです。
- 逆質問は時間ぎりぎりまでした方がやる気を見せられると思います。
- 面接をするごとにフィードバックを貰うことで、自身の成長につなげました。

《失敗談》

- 前回面接した職員の方の名前を聞かれましたが、あやふやに覚えていたため、間違えてしまいました。
- 時間ギリギリで動いていたら、集合時間に遅れかけました。
- 昼ごはんをあまり食べなかったら、夕方以降、体力がきつかったです。
- スーツの襟を立てたまま、面接に行ってしまった。
- 大事な場面で第一志望の官庁を言い間違えてしまった（笑）。

官庁訪問対策④

印象に残った質問

- 財務局のツールを使い、あなたの地元で何ができますか。
- もし、他省庁の予算を減らすとしたら、その省庁の職員をどう説得しますか。
- 日本で最も緊急の課題は何だと思いますか。そして、それをどのように解決しますか。
- 国家公務員総合職として働く覚悟はありますか。
- 東京／地方で働くことができますか。
- 年上の部下を持つことになりましたが、どう接しますか。

してよかった質問

- 職員の方全員に同じ質問をしました（比較できて参考になりました）。
- 自分の意見を述べてから、それについて質問しました。
- 職員の方の経歴に関連した質問をしました。
- 自分が聞かれた質問を職員の方にも聞いてみました。

休日の過ごし方

- 睡眠をしっかりとって体調を整えました。
- お金を気にせず、好きなものを食べるようにしました。
- 普段通り、バイトをしたり、大学のゼミに出席したりして過ごしました。
- 友人と通話をしました。
- サウナに行きました。
- 浅草寺に行って合格祈願をしました。
- スーツをクリーニングに出しました。
- 次回の官庁訪問の対策をしました（前回までの官庁訪問のまとめ、志望動機の練り直し、新たに興味を持った政策を調べる、等）。

官庁訪問対策⑤：Q & A

Q ジャケットは着ましたか？

A 着ても着なくても大丈夫な雰囲気でしたが、（男性はネクタイも）持ってきた方が安心です。

Q 控室の雰囲気は？

A 面接後は、内容をまとめるので必死だったので静かでしたが、全体的には、にぎやかで楽しい雰囲気だったと思います。分からないことがあれば、皆、気軽に教えてくれました。

Q おすすめのリラックス方法は？

A 《控室》 ・他の訪問者と話す ・歯磨きをする ・甘いものを食べる	《帰宅後》 ・湯船につかる ・スポーツ観戦をする ・近所のファストフード店へ
--	---

Q 軽食等を買う場所がありますか？

A 省内にコンビニがあり、待ち時間に自由に行くことができます。お菓子や飲み物をすぐ買うことができるので重宝しました。

Q 官庁訪問中に大変だったことは？

A 長丁場になるので、気を抜かないようにしつつも、気を張りすぎないようにする（面接と控室でのメリハリのつけ方）のが大変でした。

Q 官庁訪問中の勝負飯は？

A

- ・うなぎ
- ・ラーメン（家系・二郎系）
- ・チョココロネ

CHAPTER 5

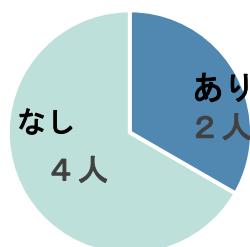
FOR LOCAL STUDENTS

～ 地方学生への指南～

今年も、内定者の多くは地方出身者でした。
地方学生だからこそ感じる不安の解消に、
このページが一役買えば幸いです。

費用

大学からの補助の有無

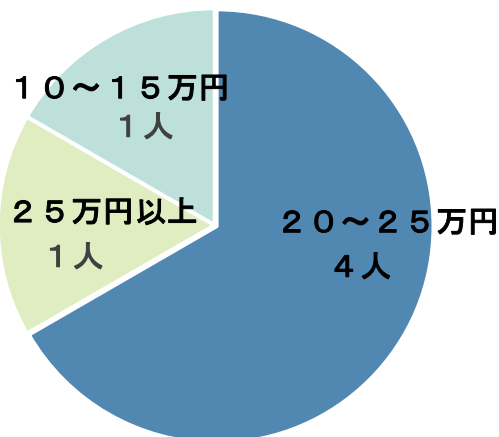


20万円はかかりそう。
大学によっては補助が出る。

今年度の内定者の費用は、少なくとも20万円はかかっている学生が多かったです。今年度の内定者は関西から中国地方に在住する学生が大半ですので、より遠方の学生の方はもう少し費用がかかる可能性があります。

また状況によりホテルの値段が高騰する可能性があるのも、前もって用意しておいた方が良いでしょう。

大学によっては、大学から補助があるので、大学に問い合わせても良いと思います。



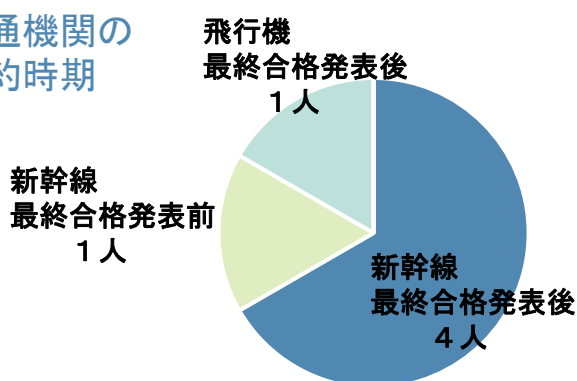
官庁訪問の費用総額

交通・ホテル

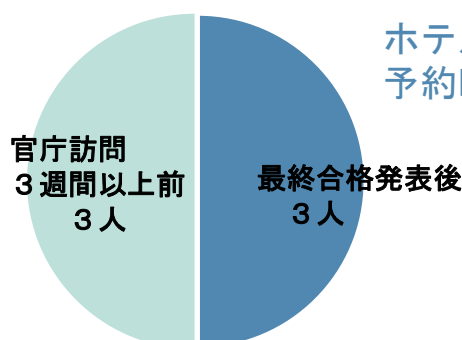
交通の予約は、最終合格発表後に行う内定者が多かったです。新幹線は早い予約であってもあまり割引にならないこと、新幹線・飛行機ともに早い予約だとキャンセルができない場合があることが挙げられました。学割は窓口での予約が必要になる場合が多いので、早めの予約をした内定者もありました。

ホテルは、早く予約した学生と、直前に予約した学生とに分かれました。費用の面からも、空き状況の面からも、早めの予約が良いと思います。合格発表と官庁訪問との間には日程が空いており、キャンセル料なしにキャンセルできる場合があるので、しっかり調べて早めの予約をお勧めします。

交通機関の予約時期



ホテルの予約時期

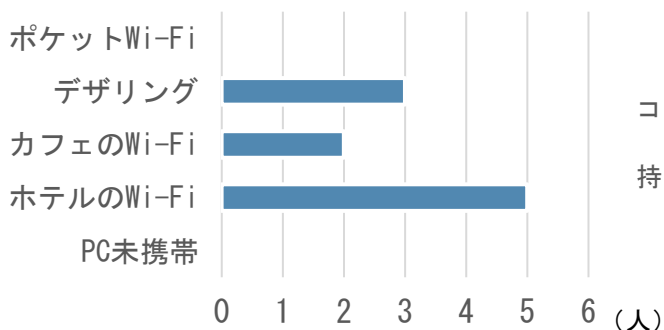


持ち物

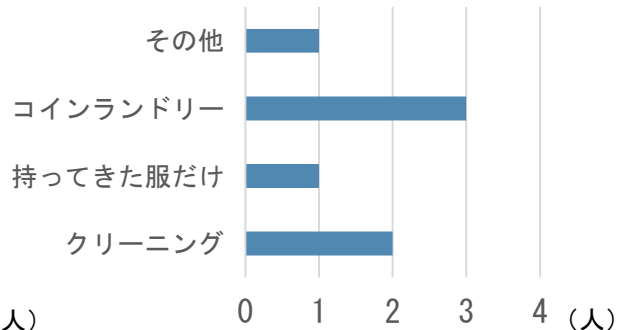
パソコンは必須です！

皆が口をそろえて必要だというのがパソコンです。官庁訪問の申し込みや、官庁訪問カードの送付にはメールが必要ですし、官庁訪問カードの書き直しにもパソコンが必要です。また、パソコンを使って白書や、過去の説明会の資料を読むことにも使えて便利です。必ずパソコンを持っていくことを強くお勧めします！

PCの持参とネット環境（複数回答あり）



着替えについて（複数回答あり）



持ってきて良かった物・持ってきておけば良かった物

《官庁訪問に必要なもの》

- パソコン
- メモ帳・ノート
- クリアファイル
- 説明会資料

《衛生用品など》

- 爪切り
- シャンプー
- ハンカチ（複数枚）

《食事》

- パン
- パックご飯
- カップ麺

ホテルのシャンプーが
合わない人は持参もあり。

官庁訪問中は、とにかく外食とコンビニでの食事が多くなり、食費がかさむので、自分の好みのものを事前に購入した方が良いという人が多かったです。

内定者の声

- 東京の鉄道は、人が多く、複雑です。

ホテルの場所は、霞が関まで乗り換えなしで行けるところか、徒歩圏のところにした方が良いです（複数回答あり）。

- オンラインや大学での説明会で済ますのも良いですが、実際に霞が関まで赴いて、庁舎や職員の雰囲気を感じるのは非常に有意義です。自分に合う省庁かどうかの良い材料になりますし、何よりモチベーションが上がります。

- 貯金は早めにしておいた方が良いです！

日程

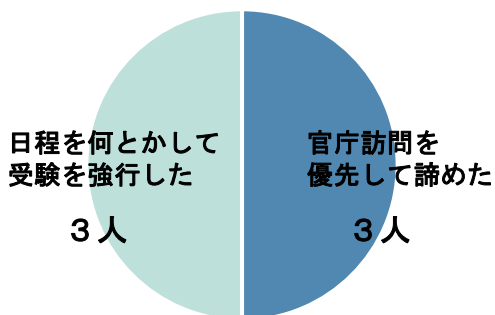
官庁訪問において、日程をどうするのかはかなり悩めます。国家総合職の官庁訪問中には、他の公務員試験や、説明会が実施されており、場合によっては諦める必要も出てくるからです。移動時間を考えると、日程が重複してなくても、諦めざるを得ないこともあります。一方で、官庁訪問が順調に進まない可能性も十分あり、他の公務員試験というカードも保持しておきたい心理は、内定者にもありました。

右のグラフは、官庁訪問中、他の公務員試験を諦めることがあったかを質問したものです。内定者の半数が官庁訪問を優先して諦め、残り半数が受験を継続しました。内定者もかなり迷ったことが窺えます。

受験の継続の有無について、官庁訪問前に決めていた人、訪問先の控室で決断した人がいました。人事院や自治体のホームページ等で日程を確認し、交通手段などをシミュレーションしておくことをお勧めします。

かなり悩む日程
前もって決める人も
多いけれど、、、

官庁訪問中の他の公務員試験



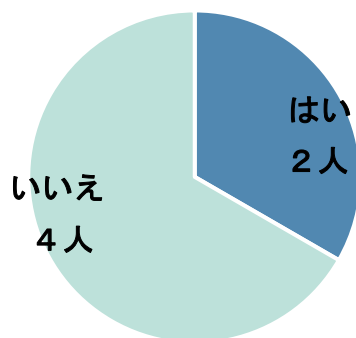
休日の過ごし方

主に次のことをしていた人が多かったです。

- 外へ散歩に行ったり、観光したりしてリフレッシュした。
- 併願している公務員試験を受験した。
- 官庁訪問カードを書き直した。

内定者の過ごし方で一致していたのは、ホテルにこもるということはあまりしないことでした。気分転換になるようなことをしていた内定者が多かったです。せっかく東京に来ていますから、少しは東京を楽しむのも良いと思います。

途中で帰宅しましたか？



実家に帰宅する人は、少数でした。ただし、今年の内定者は、遠方に住んでいる人が多く、往復の交通費が、ホテル代を上回るケースがほとんどであることは、留意する必要があります。名古屋など、遠方ではない地域に住んでいる場合は、いったん自宅に帰るといった選択もありだと思います。

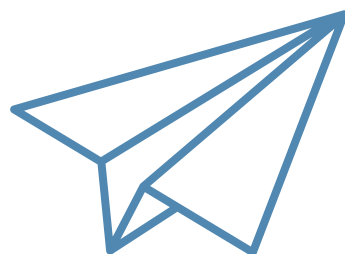
最後に

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

国家公務員試験、及び官庁訪問では、不安や大変なことが多く、非常に苦労すると思います。内定者も、様々な悩みを抱えながら、官庁訪問に臨んでいました。そんな悩みの種がなくなるよう思いを込めたこのパンフレットが、皆様のお役に立てると非常にうれしく思います。そして、このパンフレットを読んでくださった方が、財務局総合職を選んでくれたら、この上なく嬉しいです。

国家公務員総合職試験や、官庁訪問を振り返ってみると、こんなにも「自分とは何か？」を自問自答した機会は、人生で初めてでした。自分の価値観に従って、当たり前を選んできた選択を初めて分析した結果、客観的に当たり前でない自分の特徴や強み・弱みを発見できたことは、就職活動の最も大きな成果ではないかと個人的に思います。

最後に、このパンフレットの制作に当たり、人事の皆様をはじめ、多くの方のご支援により、完成することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。



Ministry of Finance
9 Local Finance Bureaus
1 Local Finance Branch Bureaus
40 Local Finance Offices

